


●ガバナー 今井 高志 ●会長 西村 幸也 ●幹事 西尾 和樹 ●コミュニケーション委員長 熊谷 道雄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 2077 回 例会 記録

《地区大会報告例会》(クラブ協議会)

2018 年 10 月 4 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1509

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



櫻田職業奉仕委員長

《会長要件》西村会長



こんにちは。先週末に弘前市で開催された地区大会には当クラブから 14 名の方々が出席されました。多くの皆さんにご参加いただいたことに御礼申し上げます。

さて、今日も秋晴れの、とても良い天気ですね。このように気候の良い日の気持ちの良い時間帯に、私たちロータリアンがわざわざ時間をさいて集まり、語り合うのは何のためだろうか、ということについて、改めたて言うまでもありませんが、最近考えていることを少しお話ししてみたいと思います。

私たちの活動の中には、「奉仕」という言葉が頻繁に出てきます。「奉仕の理想」(Ideal of Service の直訳語)という言葉はロータリーソングにも歌われ、私たちに馴染み深いものです。

奉仕の理想とは、「己に天職という使命を与えてくれた社会に感謝し、他者を助けることを追求する」精神で、ロータリーの「超我の奉仕」の哲学でもあるわけです。それは当たり前のこととして、私たちは、肝心の助けられる側の人たちのことをよく考えているだろうか、と最近思うことがあります。

たとえば、災害時には多くの支援物資が被災地に届きますが中には役に立たないものも多く、放置されたり、もてあまされて被災していない周辺の住民に配られたりすることも多いようです。

それからこんな例もあります。アメリカは北欧のような福祉国家ではありませんが、それでも、1960年代に「貧困撲滅」を掲げて福祉改革を行いました。その一環として、未婚の母は無条件に生活保護を受けられるようにしたのです。その結果何が起きたかということ、結婚できるのにわざと結婚せずにシングルマザーとなり、金銭的な福祉支援をうける女性が急増するという弊害が発生し、この政策は取りやめになりました。

よく、「お腹のすいている人に魚をあげるのではなく、魚の釣り方を教えよ」といわれます。我々の奉仕は「施し」には留まらず、自助(セルフヘルプ)、

《出席報告》原委員長



正会員数 37 名。本日の出席は免除会員 2 名を含む 20 名。出席率は 63% です。前々回の例会は、国際奉仕(米山)委員会担当例会で出席率 73% でした。

自立のお手伝いをする、それが本当の意味で困っている方々を助けることになるのではないかと、最近考えているところです。みなさんはどうお考えでしょうか？

《配偶者誕生日(9月)》《配偶者誕生日・結婚記念日》



吉田賢治会員



本多会員

《結婚記念日》



石橋会員



櫻田会員

《幹事報告》西尾幹事

・理事役員会報告

○11月のプログラム、11月1日(木)指名委員選挙例会、11月8日(木)任意休会、11月15日(木)国際奉仕委員会担当例会(南浦項報告)、11月22日(木)職場訪問(赤穂会員事業所でそば打ち体験等)そば打ち体験15時頃、例会18時30分
11月29日(木)コミュニケーション委員会担当例会(IT関係 My Rotary)

○聖ウルスラ学院英語弁論大会トロフィー代は例年通り協力。

○10月28日(日)はちのへホコテンでのロータリー関連の展示ブースのPRをお願いします。



○今年度の IM の実行委員会を立ち上げますのでご協力をお願いします。

・南浦項訪問の参加締め切りは今日までになっています。

・よろず相談のポスター、チラシがまだありますのでお持ち帰りの上掲協力をお願いします。来週の金曜日 17 時 30 分から Be FM に会長が出演してよろず相談の告知があります。

・インドでのポリオワクチン投与の案内が届いています。

・今月のロータリーレートは 1 ドル 112 円です。

・船田バンケットサービス様より社名変更のハガキが届いています。船田サービスに変更したそうです。

・地区よりじょっぱり経済学の講師依頼のお願いが来ています。

・例会変更のお知らせ、八戸西 RC 10 月 18 日（木）場所変更、10 月 25 日（木）時間・場所変更、11 月 1 日（木）場所変更です。

《ニコニコボックス》大橋副委員長

西村会長：地区大会に参加された皆様、お疲れ様でした。

西尾幹事：地区大会、お疲れ様でした。

長嶺会員：9 月 28 日 初孫誕生しました。

配偶者誕生日：本多会員、

吉田賢治会員（9 月）

結婚記念日：石橋会員、櫻田会員、本多会員



《コミュニケーション委員会》熊谷委員長

ロータリーの友のご紹介ですが先月できなかったのが 9 月号と 10 月号の中からご紹介します。先月は「ロータリーの友」月間、今月は「米山」月間です。9 月号の特集の中に八戸ロータリークラブさんの『友』はネタづくりの材料 親睦から広がるロータリーへの理解という八戸 RC の妻神直前会長の記事が 2 ページにわたって載っています。抜粋してご紹介します。

2017-18 年度、八戸ロータリークラブ (RC) では、クラブテーマとして「より集い、より語り合おう！」を掲げ、それを実行するための取り組みの一つとして「ロータリーの友」（以下『友』）を活用した取り組みを行いました。…

①『友』を卓話で紹介

これまで毎月の『友』の紹介は、委員会活動として食事中に行われていましたが、これを毎月初めの例会時に卓話の中で、雑誌委員会から『友』を紹介することにしました。…

②『友』読後会を毎月開催

毎月 1 回、八戸のおいしい料理とお酒を堪能しながら、『友』や、『友』以外のさまざまなことについて語り合う『ロータリーの友』読後会」と称する IDM (Informal Discussion Meeting) を実施しました。…

話は、『友』の話題から発展し、今後の八戸 RC の未来を展望した意見交換や家族のこと、趣味の話と、話題がさまざまな方向に向けられ、会員相互の親睦を深

める絶好の場となっています。…

以上の取り組みにより、これまで以上にみんなが集まって多くのことを語り合い、そしてお互いのことを知り、さまざまな職種の会員が「ロータリー」という共通の言語をもって、親睦を深めていくことができました。…

と書いてあります。単なる雑誌ではなく、それを親睦の材料とされている、素晴らしい活用だなと思います。今年度やっているかはわかりませんがレジメみたいなものを毎月作ってそれを基にしていろいろ話し合っているということですので、参考にしたいと思います。

10 月号の 8 ページに『会津と薩摩、因縁を超えロータリーが結んだ縁』ツバキに託す願いという記事がありますがこれも抜粋してご紹介したいと思います。

鹿児島市にある島津家別邸内の仙巖園の丘に、1 本のツバキが生えている。…このツバキは会津若松西ロータリークラブ (RC)、鹿児島中央 RC が 1997 年に有効クラブを結んだ証として、2009 年に植樹された。…両市の 2 クラブが友好の手を結ぶまでには、紆余曲折があった。…1996 年、鹿児島中央 RC から友好交流の打診を受けた時には、会員の一部から強硬な反対意見が上がった。会員の理解を得るのが困難なのは、火を見るよりも明らかだった。当時の会員 76 人のうち、20 人ほどは戊辰戦争で薩摩藩と戦火を交えた会津藩士の子孫だった。

（先週は台風のため NHK 大河ドラマ「西郷どん」はお休みでしたが、今月中にもこの場面に突入すると思います。）

自分は粘り強く説いた。「和解しようというのではない。次の時代を担う人たちのためにも交流に向け、長年閉ざされてきた門を開きたい。会津であろうと鹿児島であろうと、同じ日本人ではないか。」因縁をこれ以上、引きずるべきではないと考えた。そして、反対や批判の声に静かに耳を傾け、「それでもなお異論があれば、直接自分に申し出てほしい」と訴えた。以降、反対の声は出なくなった。

そして 1997 年 1 月、会津若松西 RC から 17 人が鹿児島を訪問し、友好クラブを締結。2009 年の冒頭の鹿児島でのツバキ植樹に続き、2010 年には会津若松市内で、新政府軍の将兵が眠る西郡墓地にもツバキを植樹した。約 1,100 km 離れた 2 つの町のツバキの成長を見ながら、交流の輪をますます広げたいと考えている。という文章が寄稿されていました。ロータリーの友は一番読まれていない本だそうで、私もそうだったのですが、コミュニケーション委員会の委員長をやって、初めてまともに目を通すようになりました。読んでみるといろいろいいことが書いてありますので、皆さんも時間のある時にぜひお読みください。

《地区大会報告》クラブ協議会

《西村会長》

弘前は私が 20 代からから 30 代にかけて 9 年ほど過ごした土地で非常に懐かしい土地でもありましたので、この機会に家内と往復しましたので皆さんとは会場以外では別行動をとりました。

今回の大会は皆さん感じたとは思いますがいつもの会とは違ういろんな趣向を考えたよ



うに思います。マンネリを打破するという意向があったのかどうか、たぶんそうだと思いますがそれがいいように出た面もあればちょっと裏面に出たようなところもあって、私も含めて戸惑ったところもあったのではないかと思います。それに関してはいろいろところでいろいろな意見が出ていると思いますのでそれを反映して次回以降はまた、より良い大会になればいいなと感じて帰ってまいりました。

《西尾幹事》



入会して3回目の地区大会でした。1度目は入ってすぐの八戸での地区大会でよくわからないまま終わった印象でした。2回目は十和田での地区大会で県内外のロータリアンも含めてたくさんの人が集まる場なんだなということを実感してそれ以上中身に関してはまだよくわからない状態でいたところでした。今回の弘前での地区大会は幹事として出ささせていただいて、前日の会長幹事会から晩餐会を含めて地区大会に出席して、改めて大きな組織の中なんだなということを実感しました。RI 会長代理のお話も国際的な、世界ではこういう状況だということを受けて国際ロータリーというのをようやく実感できた気がしました。ガバナーもおっしゃっていましたが地区大会が終わればガバナーの仕事も終わりなんだみたいな話で、でも実際はまだ7,8,9の3か月しか終わってなくて自分自身もまだ3か月なんだというのが正直な気持ちで、あと9か月残っているんだなあというのを改めて思って、プレッシャーに耐えて最後までやり切れるかなとちょっと不安になりましたが、残り頑張ろうと改めて思いました。

《久保田ガバナー補佐》

本会議等は皆さんから発表があると思いますので、そのほかのことを、ガバナー補佐として戦略委員会というのと、登録委員会というのに出ました。これ

は前日の昼からだったのですが、その戦略委員会のほうで出ましたのは、ガバナー事務所を固定化しようと、ガバナーが出るたびにその地域、地域にガバナー事務所が設置されて、その都度事務局員をお願いして地区大会その他の事務に備えてきたわけですが、それを青森に作って一体的にそこで運営して、ガバナーの出るところにはサブのサテライトを作るという話が出ていました。私から言わせればこの通信が発達している時代にわざわざ二重に経費をかけてやるような仕事があるんだろうかと感じましたが、また次の会議にも呼ばれるようなので聞いてみようと思います。メリットとしては各委員会等に対する発送文書の一元化とか委員会資金の管理とかが出ていました。その中で固定の事務職員を2名青森で雇用するが素人なので教える人を非常勤で雇うというようなことでした。次に当クラブからガバナーか出ることがあればそのような組織になっているかもしれません、私はその時に金銭的な問題とかに関していろいろ意見を申し上げました。ロータリーに限らず事務局の不正など色んなことがあるようですから金銭的な規定ははっきりしたほうがいいということをご提案させていただきました。



登録委員会の方は所属委員ということで、委員長は佐々木千賀子直前ガバナー、これはどこから何人来て、何人の参加かという確認です。ここに原稿があります。国外会員からご家族7名、国内から2830地区以外の会員およびご家族23名、ゲストは来賓4名、・・・地区内登録者552名家族54名というようにご夫婦で地区大会に参加されている方もいらっしゃいますので今度は夫婦で参加されてはいかがでしょうか。総計694名の参加ということでした。

大会で印象的だったのは受付で、たぶんインタラクティブの学生だと思いますがお手伝いしてくれました。ポリオの募金を頑張っていたのはロータリーアクトだと思いますが、一生懸命募金を頑張っていたのが印象に残りました。



記念揮毫



いってきました。